

「最近世間で」会議（＝時図会議）のすすめ

時図会議（ととかいぎ）の意は、時を企画する、ということです。

10年の計画は、少なくとも過去10年間、一生懸命そのテーマについて考え、悩み、世間を凝視し続けた人に担当させたい。しかし、行政の担当者には異動があるし、住民参加のワークショップといっても、そのような人を探して集めようとしても、なかなか見つかりません。せめて、これからのために“時を図る”ことを意識したシステムを持ちたいものです。市町村合併をプラスに捉えれば、時図会議のようなシステムを導入するよいチャンスだと思います。

<実は、トトハウスのトトには、何十年にもわたって地域を見つめ続ける観測所になるう、というような意味があります。>

会議の進め方

行政や企業の組織において、定期的に「最近世間で」会議を開くことをお勧めします。

ここから、事業計画や商品開発のヒントを得ることができます。いろんな背景を持つ人の存在、住民ニーズを発見できます。まちづくりのワークショップで、はじめて出合った住民同士が、お互いを知り、打ち解ける作業としても有効です。

【手順1】以下のようなことをカードに書いて、模造紙に整理していきます。

最近ねえー

って、よくあるよね！

という場合の、四角囲いの欄に当てはまる言葉や短文を考える。

自由に発言し、皆で「あるあるー」「へえー」などと言いながら、カードに記録していく。

例) 最近ねえー

って、よくあるよね！



子供の弁当が地味（な色）になった
 電動車椅子（乗用タイプ）のお年よりをよく見かける
 カラスが増えた
 再び、イモ臭い焼酎の人气がでてきた
 飲酒運転が減った
 ビーズ細工をする人が増えた
 環境保護のボランティアが多くなった
 一年中ツバメがいる
 シングルマザー、シングルファーザーが増えた
 居酒屋メニューを出すファミレスが増えた
 駅構内で喫煙する人、見ないよね

【手順2】次に、全てのカードについて、1枚ずつ順番に、それは本当か、どれくらいの勢いでそのような変化が進んでいるのか、その原因は何か、実証データはあるか、などを話し合います。重要なキーワードをもらさずカードに記録して整理します。

例1) 電動車椅子(乗用タイプ)のお年よりをよく見かける

この“最近世間で”について、以下のような議論の結果をカードにメモします。

世間一般ではそうだが、わが町では、実はあまり普及してないような気がする
高齢人口100人あたりで比較すると、全県平均とどれだけの格差があるのだろうか
普及しないのは、「あれが高価なものだ」と思って手がでない人が多いのでは？
いや、家族が「乗ると事故の危険があるので買わせない」のでは？
歩道が未整備なので、電動車椅子が使えないのでは？
もし乗りやすい条件が整えば、もっと多くの人が購入するかしら？
買物とかに出て行くと、ポケ防止や気分転換になっていい
イギリスでは、ショッピングモビリティのNPOがあり、全国組織があるらしい
電動車椅子の保有率、所有希望の調査をしてみよう・・・等々
こうした議論があれば、例えば、どのようなアンケート調査、統計データ分析をすべきか、自ずと見えてきます。

例2) 子供の弁当が地味(な色)になった

この“最近世間で”について、以下のような議論の結果をカードにメモします。

弁当が地味って、何よ？
シイタケのお煮しめとか、コンニャクとかがおかずで、私たちが子どもの頃のように、赤いウインナーのタコとかケチャップ色のスパゲティを見ないのよ。
アトピーが出る子が多いから、弁当作るのも大変なのよ
程度の差はあるけど、アトピーと診断される子が、今では50%を超えたそうだから給食が大変らしい。児童全員に同じものを提供する給食は成り立たなくなるかも近い将来、毎日弁当持参にするしかないかも
毎日弁当になると、母親の負担が増えて、ますます少子化に
子どもにも父親にも、自分で弁当を作る技術を習得させよう・・・等々
こうした議論があれば、例えば、単に男の料理教室、親子料理教室ではなく、「弁当教室」という、目的のより明確な事業が生み出される可能性があります。

提案

上記のようなワークショップの技術を各地域の主婦などに習得してもらい、定期的に「最近世間で」会議を開催します。できれば四半期に一度で年4回、あるいは、9ヶ月に一度で3年4巡という変則的な開催でもいいかもしれません。行政や企業が、この作業を通年契約で委託し、レポートを提出してもらいます。これは、住民や消費者の問題意識を定点観測することになり、このレポートで情報を収集、分析、整理しておけば、適切な調査、施策づくり、事業づくりができるはずで、自治体の総合計画の策定などは、10年に1度のお祭りのように、たまたまその時に担当になった職員が苦勞する、というようなことではなく、時を企図する体制とシステムを整えて取り組むべきだと考えます。